

## FRJ、2027年より次世代車両を導入

安全性とパフォーマンスがさらに進化 国際格式シリーズとして新たなステージへ

Official Information No.006

2026/05/20

1/3

フォーミュラ・リージョナル・ジャパニーズ・チャンピオンシップ (FRJ) をプロモートするニューパシフィックスポーツマーケティング株式会社 (東京都世田谷区/代表取締役: 小林泰司) は、2027年シーズンより次世代車両「2nd Gen」を導入することを発表いたします。

FRJは、若手ドライバーの育成と、日本国内におけるフォーミュラカテゴリーの発展を目的として開催されている選手権です。

FIA (国際自動車連盟) の定めるフォーミュラ・リージョナル規定に基づき、将来のトップカテゴリーを目指すドライバーたちが競い合う舞台として、2020年にシリーズがスタート。以来、FRJは1st Gen車両によって数多くのレースを開催し、多くのエントリー、ドライバー、スポンサー、関係者の皆さまに支えられながら、高いレベルのレースと若手育成の場を提供してまいりました。

一方で、近年は安全基準の進化に加え、世界的な物流コストや部材価格の上昇、安定供給体制の確保など、シリーズ運営を取り巻く環境も大きく変化しています。

FRJ事務局では、次世代車両となる2nd Genについて、安全性、公平性、継続的かつ安定したシリーズ運営、部品供給体制、コスト面など、さまざまな観点から検討を重ねてまいりました。さらに、世界情勢による輸送コストや部材価格の上昇、技術サポート体制なども総合的に勘案した結果、2027年より以下の仕様で2nd Genを導入することを決定いたしました。

### ◇シャシー： DOME F112

DOME F112は、強化された2026 FIA Formula Regional 2nd Gen規定(J項275A)に準拠する新世代フォーミュラシャシーです。フロントインパクトストラクチャー

(FIS)、リヤインパクトストラクチャー (RIS)、サバイバルセル (MONOCOQUE) を最新規定に適合させるとともに、サスペンションには3rdエレメントを新たに搭載。これにより、車高セッティングとピッチング制御を独立して行うことが可能となり、より高度な車両セットアップに対応します。

また、FIAが推進する「オーバーテークしやすい空力コンセプト」に基づき、最新エアロ基準に対応したデルタウィング型フロントウィングおよびリヤウィングレットを装備。風洞試験とCFD解析を繰り返し実施することで空力性能を最適化し、より多くのドライバーとエンジニアが、ダウンフォースを重視した高度なシャシーエンジニアリングを実践的に学べるパッケージとなっています。

制御系には、先代のFIA Formula Regional 1st Gen車両であるDOME F111/3と同様、Formula Regionalでは世界標準となっているMarelliのシステムを採用。

さらに、DOME F112のサスペンションジオメトリは、幅広いドライバーに対応したマイルドな特性を持つDOME F111/3に対し、よりステアリングインフォメーション量を高めた、やや上級者志向のセッティングを標準仕様としています。なお、従来型のみマイルドなハンドリング特性についても、オプション設定として選択可能です。

## FRJ、2027年より次世代車両「2nd Gen」を導入

安全性とパフォーマンスがさらに進化 国際格式シリーズとして新たなステージへ

Official Information No.006

2026/05/20

2/3

### ◇エンジン：ATM163T

搭載されるエンジンは、「Toyota GR Yaris」に採用されている1.6L直列3気筒ターボエンジン「G16E-GTS」をベースとした「ATM163T」です。

開発および認証は、1st Gen同様にイタリアのコンストラクターであるアウト・テクニカ・モトーリ（ATM）が担当。日本国内でのエンジン供給およびメンテナンス、テクニカルサポートは株式会社トムスが担当します。

最新のターボユニットを採用することで、信頼性とパフォーマンスを高いレベルで両立します。

### ◇タイヤ：PIRELLI 15インチ

FIAのもと各国フォーミュラ・リージョナル選手権において、ピレリの15インチタイヤのワンメイクとなります。

### 参考販売価格（2026 FIAコストキャップ価格）

▶ シャシー：111,500€

▶ エンジン：35,175€

※上記は2026年度FIA Formula Regional 2nd Gen承認規則による価格です。  
※2027年度価格は、FIAがOECD消費者物価指数に基づき年初に発表となります。

### 導入日程：

- 2026年7月上旬：申込受付開始
- 2026年7月中旬以降：エンジン受け入れ・メンテナンス開始
- 2027年2月以降：車両デリバリー開始
- 2027年4月頭：合同テスト 実施予定
- 2027年4月中旬以降：2027年シーズン開幕予定

2nd Genでは、パワーウエイトレシオに大きな変更はないものの、安全性能が大幅に向上しています。

なお、2027年からFRJは国際格式シリーズとして開催される予定であり、エントリーおよびドライバーは国際ライセンスが必要となります。シリーズ全体として、より国際基準に則った競技環境へと進化していきます。

### 問い合わせ先：

シャシーについて：株式会社 童夢 Mail: [dome@dome.co.jp](mailto:dome@dome.co.jp)

エンジンについて：株式会社 トムス Mail: [tech-1@tomsracing.jp](mailto:tech-1@tomsracing.jp)

シリーズについて：ニューパシフィックスポーツマーケティング 株式会社

Mail: [info@frj.jp](mailto:info@frj.jp)

## FRJ、2027年より次世代車両「2nd Gen」を導入

安全性とパフォーマンスがさらに進化 国際格式シリーズとして新たなステージへ

Official Information No.006

2026/05/20

3 / 3

